

歯科専門体験実習

責任者・コーディネーター		口腔医学講座（歯科医学教育学分野） 浅野 明子 准教授		
担当講座（分野）		口腔医学講座（歯科医学教育学分野）等		
対象学年	2	区分・時間数 (1コマ2時間換算)	講義/演習	実習
期間	通期		前期 2.0時間	8.0時間
			後期 2.0時間	20.0時間

学修方針（講義概要等）

多職種連携教育（Inter Professional Education）の一環として、1年次の、「多職種連携のためのアカデミックリテラシー（問題解決型学修を含む）」での知識を踏まえ、2年次では本実習を経験する。実際に歯科治療での多職種連携の現場を経験し、将来の臨床実習、臨床研修、その後に携わる歯科医療で必要なチーム医療において歯科医師の果たすべき役割ととるべき態度について学修する。

教育成果（アウトカム）

本学附属病院歯科医療センターおよび開業歯科医院での体験を通して知識、技能、態度を学び、歯科医療の概要を説明できるようになるとともにチーム医療において歯科医師の果たすべき役割ととるべき態度を説明できるようになる。

（関連するディプロマポリシー：1～6）

到達目標（SB0s）

日程表の到達目標の欄に授業毎に示す。

事前事後学修の具体的内容及び時間

シラバスに記載されている実習内容を確認し、本実習の意義について熟考してから実習に臨むこと。歯科医療におけるチーム医療、多職種連携についてあらかじめ調べることが必要である。各実習に対する事前事後学修の時間は平均75分を要する。
事前学修：シラバスに記載されている内容を確認し、教科書等を用いて事前学修を行うこと。各授業に対する事前学修の時間は平均30分を要する。
事後学修：講義で理解が不十分であった箇所については、講義資料や教科書等を用いて事後学修を行うこと。各授業に対する事後学修の時間は平均45分を要する。

（事前学修：平均30分を要する 事後学修：平均45分を要する）

講義/演習日程表

区分	月日 (曜)	時 限	担当教員 (講座 分野)	ユニット名 内容	到達目標 [コア・カリキュラム] 事前事後学修
講義	7/18 (金)	3	浅野明子准教授 口腔医学講座 (歯科 医学教育学分野)	歯科疾患と治療法 歯科専門体験実習事前 オリエンテーション 口腔・顎顔面領域の診 察、検査、診断および 予防を行うために必要 な基本的な知識、態度 を身につける。 (矢巾キャンパス東2-D 講義室)	1. 歯科専門体験実習の目的を説明 できる。 2. 歯科専門体験実習に必要な身だ しなみを説明、実施できる。 3. 患者に接するときの心構えを説 明する。 4. 良医の条件を説明する。 5. インフォームドコンセントの定 義と重要性を説明する。 6. 医療情報の収集法を説明する。 7. 医療面接の目的と方法を説明す る。 8. 主訴、現病歴、既往歴等の定義 を説明する。 [PR-01～06、GE-01 ～05、CS-01 、 CS-07 、CM-01 ～05、IP-01 ～04、 E-6-1-1 、E-6-1-2] 事前学修：講義資料を読んで疑問点 を整理しておくこと。所要時間30分 程度。 事後学修：講義で理解が不十分で あった箇所について、講義資料や教 科書を用いて知識を整理しておくこ と。所要時間45分程度。
講義	9/5 (金)	4	浅野明子准教授 口腔医学講座 (歯科 医学教育学分野)	歯科専門体験について 歯科専門体験実習の目 的、実施要項を理解す る。 (矢巾キャンパス東2-D 講義室)	1. 歯科専門体験実習の目的を説明 できる。 2. 歯科専門体験実習に必要な身だ しなみを説明、実施できる。 3. 歯科専門体験実習のスケジュー ルを説明できる。 [PR-01～06、GE-01 ～05、CS-01 、 CS-07 、CM-01 ～05、IP-01 ～04、 E-6-1-1 、E-6-1-2] 事前学習：実習を行う施設等につい て事前に示すので、これについて調 べておくこと。

実習日程表

実習	7/25 (金)	1 2 3 4	歯学部臨床系全講座 (分野)	歯科専門体験事前実習 (内丸 歯科医療センター)	- 自己紹介ができる。 - 担当歯科医師・スタッフとコミュニケーションがとれる。 - 担当歯科医師・スタッフ・患者に挨拶ができる。 - 担当歯科医師・スタッフの指導のもとに患者に対応できる。 - 治療前の準備について説明できる。 - 治療中の患者への配慮ができる。 - 治療後の患者への配慮ができる。 - 各職種の仕事の役割を説明できる。 - 各種治療の流れを説明できる。 - 治療用機器の名称を列挙できる。 [PR-01～06、GE-01～05、CS-01、CS-07、CM-01～05、IP-01～04、E-6-1-1、E-6-1-2] 事前学習：各自が実習を行う臨床科目について大学HPにてその内容を理解しておくこと。
実習	9/10 (水) ～ 9/18 (木)		開業歯科医院	歯科専門体験実習	- 自己紹介ができる。 - 担当歯科医師・スタッフとコミュニケーションがとれる。 - 担当歯科医師・スタッフ・患者に挨拶ができる。 - 担当歯科医師・スタッフの指導のもとに患者に対応できる。 - 治療前の準備について説明できる。 - 治療中の患者への配慮ができる。 - 治療後の患者への配慮ができる。 - 各職種の仕事の役割を説明できる。 - 各種治療の流れを説明できる。 - 治療用機器の名称を列挙できる。 [PR-01～06、GE-01～05、CS-01、CS-07、CM-01～05、IP-01～04、E-6-1-1、E-6-1-2] 事前学習：各自が実習を行う歯科医院にてその内容を理解しておくこと。
実習	9/19 (金)	1 2	浅野明子准教授 口腔医学講座 (歯科 医学教育学分野)	歯科専門体験実習発表 会 (矢巾 大堀講堂)	

教科書・参考書・推薦図書…予め指定する図書はありません。

区分	書籍名	著者名	発行所	発行年

成績評価方法・基準・配点割合等

実習評価（発表会、講義、オリエンテーション及び各施設の担当指導者からの評価）およびレポートで評価する。（実習評価60%、レポート40%）

特記事項・その他（試験・レポート等へのフィードバック方法・アクティブラーニングの実施、ICTの活用 等）

本実習では、本学附属病院歯科医療センターおよび開業歯科医院での体験を通して知識、技能、態度を学ぶ。最終日に開催する発表会で、各自がプレゼンテーション行い、伝える力の強化を図るとともに、研修先の歯科医師、教員、スタッフとのディスカッション、コミュニケーションの機会を設ける。各自の実習目標、事後報告書はポートフォリオとしてWebClassに提出する。ポートフォリオの内容から考察が不十分である場合は個別に追加指導を行う。

当該科目に関連する実務教員の有無 … 有（大学病院等における医師や歯科医師の実務経験を有する教員が専門領域に関する実践的な教育を事例を交えて行う）

授業に使用する機械・器具と使用目的…特記すべき機械・器具等はありません。

使用機器・器具等の名称・規格	台数	使用区分	使用目的